



教育目標

笑顔追求（腹栄中大好き）、
日々の小さな努力で、
スクールプライド（自覚・愛着・誇り）の育成

文責 福島英士郎

1 腹栄中校区三校連携の研究授業を本校で行いました。(9/4)

ひまわり幼稚園、長洲こどもの海保育園、六栄保育所、腹赤小、六栄小の先生方をお招きし、2年1組理科（T1 三宅先生、T2 上田先生）の研究授業「体に取り組む酸素はどのようにして二酸化炭素に変わり、吐き出されるのか追跡してみよう」を参観していただきました。



（個の学びの様子）

（豚の内臓を観察）

（豚の肺の膨らみを観察）

その後、腹栄中校区の幼稚園や保育園、小中学校で「家庭学習」等について協議しました。研究授業に取り組む2年1組の子ども達は、とても意欲的に学習に参加できていました。班学習では学ボードを使用し、協働的な学習に取り組みました。多くの参観者からお褒めの言葉を数多く頂きました。

○先生の指示が通るための細やかな工夫がなされていました。学びのUD化が配慮されて、生徒達も自主的自発的に学習できていました。最後の豚の肺を使ったまとめは生徒達も目を輝かせていました。私自身も豚の肺を初めて見る事ができました。特に印象に残ったことは、学びの中で生徒達から自然と拍手が沸き起こったところでした。○中学校は教えなければならない事がたくさんあるので大変だろうなと思いました。豚の心臓や肺をくいくいように見る生徒の視線がとてもよかったです。 腹赤小の先生より

○学習活動にメリハリがあり教材も工夫されていて、とても勉強になりました。生徒達の「伝え合い」の場面では、生徒達同士で「それ〇〇だよね」、みたいに補足し合って、「いいなー」と思いました。最後の豚の内臓での説明は感動しました。あれほどはっきりわかるんですね。肺が膨らむシーンは、子ども達の心の中にもしっかりと焼き付いたと思います。○子ども達の顔がとてもキラキラしていました。照れくさそうにしながらも相手に伝わるように一生懸命説明していました。その説明を聞いて「おー」と拍手が自然にでていたのが素晴らしいと思いました。六栄小の先生より

家庭学習の充実についての意見交換 1

(1) 課題

●家庭学習への意識が低いのではないか。●家庭学習の時間を決めていないのではないか。●教科書を持って帰らない生徒もいる。●子どもの帰宅後の過ごし方等に個人差が大きいようである。●宿題を最後までやり遂げるという意識が薄いように感じる。●家庭学習の習慣が身につけている生徒とそうでない生徒の差がある。●授業でどこが重要な部分であるかをマーカー等で色つけしているが徹底できていない。そのため家庭学習でどこを勉強すればよいかわからない子がいる。

(2) 対策

○素晴らしい自主学習を子ども同士が学び合ったり家庭に紹介することで家庭学習の意欲を高める。○学校で家庭学習の手引き等を発行している。共通実践を行いながら、時々チェックしあう。○家庭にも学習方法のプリントを配付し、学校と家庭の連携を深める。○放課後、学校でさせてもよいのではないか。

日没が早くなっています。安全確認の徹底と登下校時のタスキやヘルメットの着用、早めの点灯を心がけましょう。

2 定期テスト対策の様子

前期期末テストに向けて希望者で放課後学習会を行いました。どの教科もテスト対策プリントが出されていきましたので、生徒達は熱心に勉強できていました。一部の生徒が「職員室の先生に質問してきます」と言って、30分ほど質問に行き、理解した様子で戻ってきました。とても有意義な放課後学習会の時間でした。 本田先生の感想

3 挨拶運動の感想（1年1組）

挨拶は人として生きていくうえで最も大切な流儀です。

○今まで挨拶運動をしたことがなかったので、よい経験になりました。多くの方が挨拶を返してくれました。 集 伊吹君
○僕は家が遠かったので、雨の日は少し遅れて挨拶運動をしました。でも元気に挨拶運動ができてよかったです。 木戸佑月君
○朝から大きな声で挨拶運動するので、一日中元気で過ごせました。また他のメンバーとの会話が楽しかったです。でも挨拶を返してくれない人がいて少し残念でした。早起きは眠たかったです。でも楽しかったし健康になるのでこれからも挨拶をしようと思います。 井戸こころゆ
○挨拶を返してくれるととてもうれしい。でも「おはようございます」と声をかけても、挨拶が返ってこないと悲しくなりました。 坂西涼羽ゆ
○元気に挨拶運動に参加することができて良かったです。時々、おしゃべりがあったのが反省です。 小山沙似歌ゆ